

講義コード Course code	022002104
講義名 Course title(Japanese)	社会学 B
英文講義名 Course title (English)	Sociology B
(副題) Course subtitle	
開講責任部署	
講義開講時期 Semester(s)	後期
講義区分 Type	講義
単位数 Credit hour(s)	2
時間 Total hours	0.00
代表曜日 Day	金曜日
時限 Period	2 時限
担当教員 Lecturer(s)	

職種（専任教員・非常勤教員） Position (Full-time/Part-time)	担当教員名 Lecturer(s)	実務経験の有無 Hands-on experience	所属学部 Department
専任教員	新谷 由里子		発達科学科心理学専攻

### 授業の内容（主題） Course description

- ・社会学は、個人と社会の相互的な関係に視点を置き、複雑化する現代社会が抱えるさまざまな社会的問題や現象、また、人間の社会的生活について幅広く研究する学問です。人間が作る社会（集団）は時代とともに変遷することに加え、その形態も急速に変化していきます。
- ・授業では、社会学の基本的考え方と基礎概念を分かりやすく説明し、それを踏まえて、家族、教育、社会階層、ジェンダー、ライフコース、労働、少子高齢化、都市などのテーマを幅広く取り上げます。加えて、それぞれのテーマにアプローチする中で、社会学が獲得してきた成果(社

### 到達目標 Course objectives

- ・現象と社会の全体像を時間的・空間的な広がりの中で理解し、現代の社会事象や社会問題について社会的な視点で考える力を養う。
- ・実際に体験したり見聞したりする個々の事象や問題に対して、十分に客観的で合理的な解釈・評価ができるようになることが到達目標である。

### 授業計画表 Course plan

回 Class sessions	内容 Topics	予習・復習 Expected work outside of class
第1回	イントロダクション (社会学とは)	復習(30分): 講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。

第2回	社会学史①	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第3回	社会学史②	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第4回	社会学史③	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第5回	個人と集団	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第6回	家族と教育	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第7回	労働と消費	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第8回	宗教と文化	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第9回	政治と権力	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第10回	社会変動①歴史と近代	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第11回	社会変動②歴史と近代	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第12回	人口変動の社会学①	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第13回	人口変動の社会学②	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第14回	現代の社会学理論	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第15回	総括	

### 授業計画コメント

#### Course outline

基本的にシラバスに沿った授業計画とするが、途中変更があった場合は授業内で説明、周知する

### 授業の進め方

#### Session plan

適宜、授業内容に沿った資料を配付し、講義形式（状況によっては、遠隔授業に変更の可能性有）で実施する。また、必要に応じて映像や画像を視聴する。

### アクティブラーニング

#### Active learning

授業で学んだ社会学的事象を自分の関心に引き寄せて、新聞、ニュース、資料などより具体的に把握、考察、評価する。

### 授業時間外の学修（予習・復習等）

#### Preparation and review outside classroom hours

授業内で学んだ知識や内容に関して、資料、論文、書籍等を通してさらに理解を進める。

### 教科書等

#### Textbooks and materials

	タイトル Title	著者名 Author(s)	出版社 Publisher	出版年 Year of Publication	価格 Price	ISBN
1						
2						
3						
4						
5						

### （必ず購入すべきもの）

#### Materials required for sessions

特になし。

**参考図書****Reference book(s)**

- ・『本当にわかる社会学』現代位相研究所編 2010
- ・河合雅司『未来の年表』講談社現代新書 2017/河合雅司『未来の年表2』講談社現代新書 2018
- ・友枝 敏雄『社会学のエッセンス 新版補訂版― 世の中のしくみを見ぬく』有斐閣アルマ, 2017/3/30
- ・橋爪 大三郎『社会学講義』(ちくま新書) 2016/9/6
- ・竹内 洋『社会学の名著30』(ちくま新書) 新書 №211; 2008/4/1

**成績評価方法および評価基準****Evaluation criteria**

	定期試験 Tests	授業内小試験 In-class quizzes	レポート・課題 Reports/Assignments	受講態度 Class Attitude
評価比率% Evaluation ratio	0%	0%	85%	15%

**成績評価の方法に関する注意点****Assessment criteria**

成績評価に変更がある場合、授業内で周知およびシラバスに再掲示する。  
授業参加、平常点も重視します。

**課題のフィードバック****Feedback**

適宜、必要に応じて対応する。

**学生へのメッセージ(履修上の心得)****Message to students (class guidelines)**

社会の仕組みや現代の社会問題、社会政策など、身近な社会的関心事に目を向け、自ら学習を深めることが望ましい。積極的な参加を期待します。

**科目のレベル、前提科目など****Level / Prerequisites**

社会学の専門的分野・トピックスを対象とする為、基礎的分野全般を網羅し習得できる社会学概論を事前に受講することが望ましい。

**キーワード****Keyword(s)**

社会学理論、社会調査、社会事象、社会問題、家族、教育、ジェンダー、格差、人口変動、結婚、出生、逸脱、教師論、過疎化、地方創生 etc.

講義コード Course code	022002103
講義名 Course title(Japanese)	社会学 B
英文講義名 Course title (English)	Sociology B
(副題) Course subtitle	
開講責任部署	
講義開講時期 Semester(s)	後期
講義区分 Type	講義
単位数 Credit hour(s)	2
時間 Total hours	0.00
代表曜日 Day	金曜日
時限 Period	4 時限
担当教員 Lecturer(s)	

職種（専任教員・非常勤教員） Position (Full-time/Part-time)	担当教員名 Lecturer(s)	実務経験の有無 Hands-on experience	所属学部 Department
専任教員	新谷 由里子		発達科学科心理学専攻

### 授業の内容（主題） Course description

- ・社会学は、個人と社会の相互的な関係に視点を置き、複雑化する現代社会が抱えるさまざまな社会的問題や現象、また、人間の社会的生活について幅広く研究する学問です。人間が作る社会（集団）は時代とともに変遷することに加え、その形態も急速に変化していきます。
- ・授業では、社会学の基本的考え方と基礎概念を分かりやすく説明し、それを踏まえて、家族、教育、社会階層、ジェンダー、ライフコース、労働、少子高齢化、都市などのテーマを幅広く取り上げます。加えて、それぞれのテーマにアプローチする中で、社会学が獲得してきた成果(社

### 到達目標 Course objectives

- ・現象と社会の全体像を時間的・空間的な広がりの中で理解し、現代の社会事象や社会問題について社会的な視点で考える力を養う。
- ・実際に体験したり見聞したりする個々の事象や問題に対して、十分に客観的で合理的な解釈・評価ができるようになることが到達目標である。

### 授業計画表 Course plan

回 Class sessions	内容 Topics	予習・復習 Expected work outside of class
第1回	イントロダクション (社会学とは)	復習(30分): 講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。

第2回	社会学史①	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第3回	社会学史②	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第4回	社会学史③	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第5回	個人と集団	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第6回	家族と教育	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第7回	労働と消費	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第8回	宗教と文化	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第9回	政治と権力	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第10回	社会変動①歴史と近代	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第11回	社会変動②歴史と近代	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第12回	人口変動の社会学①	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第13回	人口変動の社会学②	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第14回	現代の社会学理論	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめておく。
第15回	総括	

### 授業計画コメント

#### Course outline

基本的にシラバスに沿った授業計画とするが、途中変更があった場合は授業内で説明、周知する

### 授業の進め方

#### Session plan

適宜、授業内容に沿った資料を配付し、講義形式（状況によっては、遠隔授業に変更の可能性有）で実施する。また、必要に応じて映像や画像を視聴する。

### アクティブラーニング

#### Active learning

授業で学んだ社会学的事象を自分の関心に引き寄せて、新聞、ニュース、資料などより具体的に把握、考察、評価する。

### 授業時間外の学修（予習・復習等）

#### Preparation and review outside classroom hours

授業内で学んだ知識や内容に関して、資料、論文、書籍等を通してさらに理解を進める。

### 教科書等

#### Textbooks and materials

	タイトル Title	著者名 Author(s)	出版社 Publisher	出版年 Year of Publication	価格 Price	ISBN
1						
2						
3						
4						
5						

### （必ず購入すべきもの）

#### Materials required for sessions

特になし。

**参考図書****Reference book(s)**

- ・『本当にわかる社会学』現代位相研究所編 2010
- ・河合雅司『未来の年表』講談社現代新書 2017/河合雅司『未来の年表2』講談社現代新書 2018
- ・友枝 敏雄『社会学のエッセンス 新版補訂版― 世の中のしくみを見ぬく』有斐閣アルマ, 2017/3/30
- ・橋爪 大三郎『社会学講義』(ちくま新書) 2016/9/6
- ・竹内 洋『社会学の名著30』(ちくま新書) 新書 №211; 2008/4/1

**成績評価方法および評価基準****Evaluation criteria**

	定期試験 Tests	授業内小試験 In-class quizzes	レポート・課題 Reports/Assignments	受講態度 Class Attitude
評価比率% Evaluation ratio	0%	0%	85%	15%

**成績評価の方法に関する注意点****Assessment criteria**

成績評価に変更がある場合、授業内で周知およびシラバスに再掲示する。  
授業参加、平常点も重視します。

**課題のフィードバック****Feedback**

適宜、必要に応じて対応する。

**学生へのメッセージ(履修上の心得)****Message to students (class guidelines)**

社会の仕組みや現代の社会問題、社会政策など、身近な社会的関心事に目を向け、自ら学習を深めることが望ましい。積極的な参加を期待します。

**科目のレベル、前提科目など****Level / Prerequisites**

社会学の専門的分野・トピックスを対象とする為、基礎的分野全般を網羅し習得できる社会学概論を事前に受講することが望ましい。

**キーワード****Keyword(s)**

社会学理論、社会調査、社会事象、社会問題、家族、教育、ジェンダー、格差、人口変動、結婚、出生、逸脱、教師論、過疎化、地方創生 etc.

講義コード Course code	022002102
講義名 Course title(Japanese)	社会学 B
英文講義名 Course title (English)	Sociology B
(副題) Course subtitle	
開講責任部署	
講義開講時期 Semester(s)	後期
講義区分 Type	講義
単位数 Credit hour(s)	2
時間 Total hours	0.00
代表曜日 Day	金曜日
時限 Period	4 時限
担当教員 Lecturer(s)	

職種（専任教員・非常勤教員） Position (Full-time/Part-time)	担当教員名 Lecturer(s)	実務経験の有無 Hands-on experience	所属学部 Department
専任教員	川上 代里子		経営学科

### 授業の内容（主題） Course description

「社会学とは何か」と考えたとき、社会学は家族、集団、組織など人間関係を切り口として社会関係を分析していく学問であるといえるだろう。しかしその研究対象は幅広く、視点や方法も多様であるため、社会学の全体像を短期間で把握するのは難しい。そのため本講義では、我々の身近な問題を取り上げ、そのような問題を社会学がこれまでどのように扱ってきたか考察することから始める。みなさんには、ただ単に社会学についての知識を詰め込むのではなく、社会学的にものを考える能力、つまり自分の身近に起こっている問題を、個々の問題として終わらせず、ものごとをもっと広い脈絡の中でとらえることができるようになってほしい。

### 到達目標 Course objectives

社会学的にものを考える能力の前提として、基本的な社会学用語を習得することを目標とする。また各回のテーマに関して、研究の流れにそって主要な理論を理解していくことを目標とする。

### 授業計画表 Course plan

回 Class sessions	内容 Topics	予習・復習 Expected work outside of class
第1回	イントロダクション 社会とは何か、社会学とは何か	復習：講義での注意事項を確認し、学んだことを復習する。(120分)

第2回	社会学史(1) ウェーバー、デュルケム、ジンメル(社会学Aの内容の復習)	予習: 第1回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習: 社会学Aの講義を履修していない人は、追加の資料を提示するのでそれも確認しておくこと。(120分)
第3回	自我の社会学(1) フロイト	予習: 第2回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習: フロイトが主張する人間が自分の心を守ろうとする防衛機制について、自分に当てはまる経験はないか考えてみる。(120分)
第4回	自我の社会学(2) アイデンティティとパーソナリティ	予習: 第3回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習: 講義の内容を踏まえ、自分も持っている自己イメージ、自分はこういう人間だというイメージはどのようなものか考えてみる。(120分)
第5回	自我の社会学(3) 自我の構造	予習: 第4回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習: 今の自分の性格を考え、社会や周りの環境から影響を受けている部分があるかどうか考える。そのために講義の内容について、もう一度確認する。(120分)
第6回	自我の社会学(4) 社会的地位と役割	予習: 第5回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習: 普段の生活における相互行為で自分が遂行している役割を挙げてみる。その役割に伴う役割期待についても考える。そのために講義の内容について、もう一度確認する。(120分)
第7回	社会化のしくみ	予習: 第6回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習: 社会的存在としての自分、社会における自分の位置づけについて考える。そのために講義の内容について、もう一度確認する。(120分)
第8回	社会学史(2) パーソンズとマートン	予習: 第7回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習: 講義の内容を踏まえ、社会全体の構造を考えてみる。(120分)
第9回	日本のイエとムラ	予習: 第8回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習: 日本のイエやムラについて、現在にもその名残があるか具体例を考えてみる。そのために講義の内容について、もう一度確認する。(120分)
第10回	家族の諸形態、家族の機能と構造	予習: 第9回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習: 自分の家族を事例として、家族の形態や機能を挙げてみる。そのために講義の内容について、もう一度確認する。(120分)
第11回	家族の変化(1) 近代家族と子どもの誕生	予習: 第10回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習: 自分の子供時代を振り返り、成長するにしたがって周囲の自分に対する接し方などがどのように変化したか考えてみる。そのために講義の内容について、もう一度確認する。(120分)
第12回	家族の変化(2) フェミニズムとジェンダー	予習: 第11回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習: 家事分担の夫と妻の間の不公平感について、解消の方法を考えてみる。そのために第11、12回の講義の内容について、もう一度確認する。(120分)

第13回	コミュニティと人口減少社会—少子高齢化問題を考える	予習：第12回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習：少子高齢化問題について、自分なりに対策を考える。そのために講義の内容について、もう一度確認する。(120分)
第14回	社会調査 社会調査法の歴史と手法	予習：第13回の授業で指定されたキーワードについて調べておく。(120分) 復習：これまでに自分が受けたことのあるアンケートなどの調査を振り返り、それがどのようなものか考える。そのために講義の内容についてもう一度確認する。(120分)
第15回	まとめ	予習：第1回～14回の授業の内容を確認しておく。(120分) 復習：講義で学んだことを復習する。(120分)

### 授業計画コメント

#### Course outline

学んだ知識を定着させるために、必要に応じて練習問題(課題)に取り組んでいく。また講義の内容を参考にして、特定のテーマについて自分なりに考え意見を書いて提出してもらうことがある。そのための簡単な下調べを予習復習として課すことがある。

### 授業の進め方

#### Session plan

教員から提示する資料に基づく講義形式の授業である。資料は授業で随時配布する。各テーマごとに問題演習を行う。また講義の内容を参考にして、特定のテーマについて自分なりに考え意見を書いて提出してもらうことがある。そのための簡単な下調べを予習復習として課すことがある。

### アクティブラーニング

#### Active learning

授業開始時に学生に問いを提示し、その答えを考えながら講義を受講し、授業の最後に問に対する自分なりの回答を書いて提出してもらう。

### 授業時間外の学修(予習・復習等)

#### Preparation and review outside classroom hours

講義の内容を参考にして、特定のテーマについて自分なりに考え意見を書いて提出してもらうため、簡単な下調べを予習復習として行う。

### 教科書等

#### Textbooks and materials

	タイトル Title	著者名 Author(s)	出版社 Publisher	出版年 Year of Publication	価格 Price	ISBN
1	使用しない					
2						
3						
4						
5						

### (必ず購入すべきもの)

#### Materials required for sessions

特になし

### 参考図書

#### Reference book(s)

『社会学』アンソニー・ギデンズ著 而立書房  
『現代人の社会学・入門—グローバル化時代の生活世界』西原和久・油井清光編 有斐閣  
『スタートライン 現代社会の諸相』久門道利等著 弘文堂  
\*これ以外にも、各回のテーマに沿った文献を紹介することがある。

**成績評価方法および評価基準****Evaluation criteria**

	定期試験 Tests	授業内小試験 In-class quizzes	レポート・課題 Reports/Assignments	受講態度 Class Attitude
評価比率% Evaluation ratio	80%	0%	15%	5%

**成績評価の方法に関する注意点****Assessment criteria**

授業の一環として、課題に取り組んでもらいます。  
受講態度はこちらが提示する問いに対する取り組み状況が含まれます。  
詳細は、授業内で指示します。

**課題のフィードバック****Feedback**

授業で提示する問いのなかには、Yes か No で回答できるものがある。その集計結果を発表し、受講者の考え方の傾向を全員で共有する。また内容についての問題演習は、解説を行う。

**学生へのメッセージ（履修上の心得）****Message to students (class guidelines)**

講義の内容を参考にして、特定のテーマについて自分なりに考え意見を書いて提出してもらうことがある。意見を書く際には「どのような意見を述べたか」によって評価が決まることはないので安心して欲しい。テーマとなる問題について、自分なりに考え、意見をまとめてそれを書くという作業をすること自体が大切である。まずは簡単で良いので自分なりの意見を持ち、それをフィードバックして欲しい。ただ出席するだけでなく、提示した課題に取り組む積極的に授業に参加してもらいたい。

**科目のレベル、前提科目など****Level / Prerequisites**

前提科目：社会学 A を履修しているとより理解が深まるので望ましいが、そうでない場合も考慮した補足説明を行っていくつもりである。

**キーワード****Keyword(s)**

社会学